

1. 論文の種類（修士論文・修了論文）、論文題目を変更する場合は、「論文審査変更届」「論文題目変更届」を所定用紙により提出すること。

※ 提出締切： 2026年 1月 9日（金）窓口事務取扱時間【厳守】

2. 論文提出の際には、提出締切時間を厳守すること。遅れたものは受付けない。

※ 提出締切： 2026年 1月 9日（金）窓口事務取扱時間【厳守】

※ メールでの提出は受け付けないので注意すること。

3. 提出は論文4部、梗概4部 ※（論文および梗概3部は黒色厚表紙に綴じる）。

※ なお、論文は研究科において製本・保管・所蔵（閲覧に供する）する。製本に要する費用は自己負担とし、製本された論文1部を提出者に返却する。

4. 「修士論文」として審査を希望する者については、口述試験を以下の要領で行う。修士論文とともに「口述試験受験届・論文取下願・後期課程受験希望届」を所定用紙により提出すること。

日程：2026年1月下旬～2月上旬（後日周知）

時間：1人20分程度（論文報告5分・口述試験10分・審査5分）

なお、「修了論文」として審査を希望する者については、口述試験は行わず論文審査のみ行う。

5. 論文は日本語もしくは英語で作成する。ただし、英語で作成する場合には、指導教員に相談のうえ、日本語で執筆する場合に準じて作成する。

日本語論文の場合、本文の字数は原則として24,000字以上40,000字以内。

※ 両面印刷でA4判サイズとし、フォントは10.5ポイント、1ページは40字×30行とする。また、原則としてMicrosoft Wordを使用する。巻末の参考文献目録・付図・付表・付録は原則として文字数に含めない。なお、アルファベット、ローマ数字、数字の部分は、一般的に半角で表記する。

英語論文の場合、本文の語数は原則として9,600語以上16,000語以内。

※ 両面印刷でA4判サイズとし、フォントは11ポイント、1ページは半角80字×25行とする。また、原則としてMicrosoft Wordを使用する。巻末の参考文献目録・付図・付表・付録は原則として語数に含めない。

※ 希望者は中間報告書の題目を英語で作成すること。

その他、論文の執筆に際しては、「同志社大学 経済学研究科 博士学位論文 執筆要領（第3版）」に記載の形式に従うこと。

6. 巻末の参考文献目録、付図、付表等は原則として論文の制限枚数に算入しない。ただし本文中の図表については制限字数に算入する。

7. 論文は黒色厚表紙（今出川キャンパス教務センター（経済学研究科）にて配付）にひもで綴じ、それぞれに参考文献目録、梗概（日本語の場合は2,000字程度、英語の場合は800語程度）、および提出者の写真（たて4cm×よこ3cm）を添付すること。書式見本および図書館所蔵の過年度分の修士・修了論文を参照のうえ作成すること。

8. 製本に関する費用（6,600円）は、論文提出時に証紙で納入しなければならない。審査終了後に製本する。

9. 学術研究活動にあたっては、同志社大学研究倫理規準に則ること。